

別記様式（第5条関係）

会 議 録

| | | |
|----------|--|---|
| 会議の名称 | 令和7年度第1回食育推進会議 | |
| 開催日時 | R7年 8月 21日(木) | 午前10時00分から 午前11時30分まで |
| 開催場所 | 市立図書館2階研修室① | |
| 委員名 | (1) 出席委員 梅木 陽子 城野 加代子 山村 裕一郎 花田 砂恵子 山本 和也 田志 元子 田島 勝彦 中島 美香 林 チヨ (2) 欠席委員 児島 由美 | |
| 所管課職員職氏名 | こども家庭部 部長 中村 雅美 子育て世代包括支援課 課長 佐々木 こずえ 子育て世代包括支援課 保健指導係長 安部真理 子育て世代包括支援課 保健指導係 丸山 康子 | |
| 会 議 | 議 題 (内 容) | (1) 福津市食育推進の取り組みについて 資料1～5 (2) 食育に関する市民アンケートの進捗状況 |
| | 公開・非公開の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 |
| | 非公開の理由 | |
| | 傍聴者の数 | 0 名 |
| | 資料の名称 | |
| 会議録の作成方針 | <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 | |
| | <input type="checkbox"/> 要点記録 | |
| | 記録内容の確認方法 | |
| その他の必要事項 | | |

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会のことば

2. 市長あいさつ

3. 委嘱辞令の交付

4. 会長、副会長の選任

会長：梅木委員 副会長：城野委員

5. 会長あいさつ

(梅木会長)

この度は、豪雨の災害に際し大変な被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

令和7年度第1回福津市食育推進会議が開催されますが、福津市の食育を推進している市民を代表とした委員の皆さまから構成されている会です。日頃、市民の皆さまの声を聴いていらっしゃる皆さまのご意見をいただきながら、福津市にとって、より良い食育の活動が展開できる意見交換の場になるようにと思います。

食育は災害やコロナ流行の時のように、何かありますと活動が展開しにくいものでもあります。平常時の食育の活動は、人と人を繋ぐ重要な役割があると考えています。食育だけではないと思いますが、食育を通して地域の方が集まり、日頃の食の課題をお互いに共有するというのが、何かあった際に、顔がわかる、ここに相談したら良いというような、地域の繋がりを深めていく役割を担っているかと思います。

本日お集まりの委員の方達も、市民の食という重要な役割を果たしていると思いますし、日頃の食の課題を感じながら会議に参加していただいているかと思っています。

福岡女子大学は福岡市に位置する大学であります。私が福津市の食育推進会議の委員を務めますのは今回で9年目に入ります。福岡女子大学と福津市は包括連携協定を結んでおり、様々な分野で連携し活動をしています。

福津市に9年間通って参りますと、地域の様子が随分変わってきていると感じておりますが、生活している皆さまも同様かと思っています。

今年度は市民アンケートを実施し、来年度は次の計画を策定する重要な年となります。皆さまのご意見をいただきながら、アンケート結果に基づき、計画への展開に関してご意見を取りまとめて参りたいと思いますので、ご協力お願いいたします。

6. 自己紹介

7. 議事

(梅木会長)

それでは、議事に入ります。

議事1「福津市食育推進の取り組みについて」事務局より説明をお願いします。

(事務局丸山)

資料1は、食育推進の今までの流れを左から国、県、市の取り組みの順にまとめています。

平成17年、国で食育基本法が施行され、それを受けて福津市では、平成19年に食育推進チームが設置され、食育推進計画策定審議会が設置されました。平成20年に第一次食育推進計画が策定され、平成29年に第2次食育推進計画が10年計画で策定され、今年度市民アンケートを実施しております。

資料2は、第2次福津市食育推進計画に沿って、各課の進捗状況をまとめています。右端の令和7年度の取り組み案について、いくつか抜粋してご報告いたします。

【1ページ】左端の縦書きのところの目標「食を通して地域を知る」

○一番上の、観光振興課では、令和7年度は、・ひかりのみちDMO福津主催で、「鯛茶フェア」、「筑前玄海イカフェア」「開運スイーツフェア」を実施します。

- ・「鯛茶フェア」は、5/16～6/29に開催し、今年で15回目となりました。
- ・「筑前玄海イカフェア」は、9/10～11/10に、芦屋～古賀までの広域で協賛店を募って開催予定です。
- ・開運スイーツフェアは、1月～3月頃に開催予定です。

○上から2番目、農林水産課では、JA青年部と協働で、上西郷小学校でスイカの苗植え及び収穫体験。勝浦小学校で、水稻(すいとろ)の苗植え及び収穫体験を実施します。また、地域活性化へ繋げるため、地元漁業者と協力してカキ即売会を実施予定です。

○次に上から4番目、郷育推進課では、郷育カレッジの国際交流分野の講座の中で、ルーマニアとフィリピンの食文化・料理の講を実施予定です。

○上から5番目、学校教育課では、各学校では給食時間に生産者についての放送を実施しています。

○上から7番目、子育て世代包括支援課では、小学生の夏休みの自由選択課題のひとつとして、地元の食材を使って料理に挑戦する「福津のめぐみで料理名人」を募集します。募集方法や提出方法に関しては学校の負担を減らすため、WEBでの応募方法を取り入れました。また、今年度は、イオンモール福津での作品展示やお弁当販売が出来ないため、1/25に開催予定のコミュニティフェスタで作品展示を行う予定です。

【2ページ】目標「地元でとれたものをおいしく食べる」

各課事業や、学校給食、保育所給食で地元産の食材を使用しています。
○上から2番目、学校教育課では献立表に、地元産食材の使用がわかるように掲載し、給食時間の放送で、献立に関することや産地の紹介を行っています。

【3 ページ】目標「若い世代が健康や食への意識を持つ」

○一番上のいきいき健康課では、親子料理教室及び子ども食育教室で、3食バランス良く食べること、朝食の大切さをテーマに実施しました。

○上から2番目、大和保育所では、保護者の試食会を2回実施予定。未満児の保護者にもだしの丁寧な取り方を伝えます。

【4 ページ】目標「規則正しい生活リズムを整える」

○各課それぞれ、生活リズムを整えて3食規則正しく食べることを伝えています。

【5 ページ】目標「健康長寿につながる健康的な食習慣を身につける」

○一番上のいきいき健康課では、出前講座や食進会の学習会で、適塩や生活習慣病予防について啓発し、市民向けの料理教室を実施します。

また、9月または10月に「食育イベント」を、イオン福津店・福岡女子大学と共催で実施します。内容は、「食バランスと果物の有用性」で、昨年同様に栄養士会の栄養ワンダー利用でキウイフルーツを配布予定です。

なお、「適塩コーナー」を令和6年度は、イオン福津店、あんずの里市、ゆめマート津屋崎、マックスバリュ福岡駅前店、ふれあい広場ふくまに設置し、食進会提供の「適塩レシピ」を定期的に掲示していました。今年度も設置店増加に向けて取り組みます。

その他、節目歯科検診の未受診者へは保健指導時に歯科検診の必要性を説明し、受診勧奨を実施しています。

【6 ページ】目標「食への感謝の気持ちを育てる」

○上から3番目、大和保育所では、「命の会」で、園児の目の前で生きた魚をさばくことによって、魚の命をいただくことや野菜にも命があることを伝えます。

【7 ページ】目標「食文化を次世代につなげる」

○学校や大和保育所では、給食に郷土料理や季節の行事食を取り入れています。

○上から2番目、いきいき健康課では食進会とともに開催した適塩おせち料理教室を実施します。

【8 ページ】目標「食に対する正しい知識を身につける」

○一番上、郷育推進課では、郷育カレッジで食品ロスを減らす活動紹介の講座を実施します

○上から3番目、いきいき健康課では、インスタント食品や冷凍食品等に含まれる食塩含有量についての展示物を作成し、ふくとびあのロビーに展示し適塩の周知活動を実施しています。

○上から4番目、大和保育所では、給食だよりやホームページ、また、こどもんというアプリを使い情報発信しています。

【8 ページ下】目標「地域の自然環境をみんなで守る」

○一番下、うみがめ課では、廃棄物の減量化を目的にフードドライブを令和6年11月から開始し、市入り口にのぼりを立てて周知しています。

【9 ページ】目標「行政・学校・ボランティア・関係団体の連携を強める」

○上から2番目、いきいき健康課では、食進会の養成セミナーを全8回開催し、食進会の会員増加を図ります。

【11 ページ】目標「これも食育の啓発」

○広報で食育の記事掲載をしています。また、各課広報やラインなどでも、食育に関するイベント情報発信しています。

(梅木会長)

ただいまの件について、ご意見、ご質問のある方は挙手をお願いいたします。

(田島委員)

2点あります。

1点目は、2ページの上から4番目お米が「変えて」の漢字は「買えて」の漢字の間違えではないでしょうか。

2点目は、1ページ目上から4番目の郷育推進課のところです。

郷育カレッジである講座は、開催日は平日が多いため、子育て世代の方は働いていてなかなか参加ができない方が多いと聞いています。土日や休日を含めた開催することを検討されているのかどうかを担当課へ確認をしていただきたいです。

(事務局 丸山)

2ページの「買えて」は漢字の間違えがあり失礼いたしました。

郷育カレッジの講座に関しては担当課へ伝え、次回会議でご報告いたします。

(林委員)

令和7年度(案)とあるが、新規の内容を今年度に取り入れてもらえる可能性はあるのでしょうか。

また、現在はそれぞれの課の立場でイベントや講座を開催していると思いますが、赤ちゃんから高齢者まで全体を対象とした講演会をしてもらいたいと思います。ただ、赤ちゃん向けと高齢者向けでは内容が違っても思います

ので、赤ちゃん向けや高齢者向けなど年で決めて、健康講座をイオンモール福津のホール等を借りて、市民へ無料で開催するようなことを、福津市主催として市全体として取り組んでもらいたいです。

(事務局 安部)

市全体としてするには、それぞれの課の確認が必要なこと、また会場費等の予算が必要になることから、今年度に組み込むことは難しいです。次年度以降の検討ということになります。

(梅木会長)

ありがとうございました。なかなか市全体の事業となりますと開催の周知や予算のこともあると思いますが、ご意見もいただきましたので、長期的でもご検討いただければと思います。なお、田島委員からご意見ありました様に開催日のご提案等は変更可能な場合もあるかもしれませんので、市民の皆様にとって、より良い食育の場に展開ができるようお願いしたいと思います。

その他、議題に関してご質問はありませんか。それでは、それぞれの関係機関での今年度計画されている食育の取り組みがございましたらご紹介ください。

(山村委員)

農林事務所では、農作物の栽培の支援をしておりますので、直売所の講習会等で要請があれば予定しております。

(山本委員)

J Aでは、JA 主催で、宗像市の民間の子ども食堂さんと一緒に、春には、いもの苗植え、秋には収穫祭を予定しています。また、J A福間支店では親子味噌づくり教室をしています。また、学校で青壮年部の出前授業もしております。

(田志委員)

商工会では経営者の支援を主に行っています。

(花田委員)

あんずの里市は、今年度は設立 30 周年になります。幼稚園や学校給食、いきいき健康課食進会の料理教室に食材の提供をしています。また、あんずの里市でのイベントの他、市民の皆さんで、じゃがいもを植え体験と収穫体験の交流を年 2 回行っています。

(城野副会長)

食進会は、養成セミナーを 6 月に開講しました。21 名が入講し、内 2 名が男性です。現在 2 回セミナーを開催し、次回は 9 月を予定しています。会員が 37 名ですので、合わせて 58 名となり多くなりましたので楽しみに開催しております。

(梅木会長)

食進会では、食育の担い手である会員さんが増えていて、ますます活動が活発になられることを期待しています。食進会の事業は資料2でもたくさん記載がありますので、年間通してお忙しいと思いますが、よろしく願いいたします。

(中島委員)

子ども向けの食育教室(料理教室)をしています。その中で、子ども向けの体験活動を増やすことが大事だと感じています。参加したお子さまは、楽しかった、また作ってみたいという声が聞かれ、熱心に関わってくれる子どもが多いのですが、一方でご家庭の事情で参加できない、関心が低い家庭もあります。また、食材の高騰を受けて家庭への打撃は大きく、冷凍野菜やお惣菜を買う家庭も増えているのではと感じています。それでもやはり地域の食材が体に良いことを知ってもらうことを親御さんに理解してもらうことが大切だと思います。

例えば、以前、子育て応援券がありましたが、ゴミ袋を買う人が多かったと聞いていますが、配布する際に、地域のものを買ってみたいと思うような一文や、チラシがあると良いと思います。また、応援券では、地域のものより買っていただくために、ゴミ袋は買えないようにしても良いかと思いませんし、地域のものを知ることは、保護者の方にも関心をもってもらう一つのきっかけになるのではと思います。

また、勝浦小では味噌づくり体験があり、小規模校では熱心に食育の体験活動もありますが、大規模校では限度があると思います。しかし大規模校の子ども達にも何か機会があると良いと思います。

(田島委員)

この年齢になり、食の大切さを身に染みて感じています。広報8月号のカレンダー裏に食育の「夏バテ予防の食事」という記事が載っていましたが、我が家では今、トマト、きゅうり、ゴーヤを自家栽培しておりまして、記事を読んで、旬の野菜が体に大事だと思いましたので、ゴーヤはあまり好きではないですが、努力して一生懸命食べています。

(林委員)

食品添加物が怖いと感じているので、ハムやウインナーを買わない、食品表示を確認して添加物の少ないものを購入するようにしています。

また、無農薬の野菜を自家栽培していて、子ども食堂に寄付したりしています。

資料2に関してですが、調査結果の結果が経年での記載がありますが、目標値は高く掲げていますが、令和2年度の結果が平成27年に比べ悪くなっていますが、原因がどういうことにあると思われますか。

(事務局 丸山)

アンケート結果の平成27年と令和2年度の比較に関しては、令和2年度は、コロナ禍で通常通りの生活ではなかったこと、また、福津市は転入によ

り、かなり人口増加していることもあるため単純に比較できないこと。また、国のアンケートでも市民の食育への関心度は低くなっていることもあるため、福津市民も同様なのか等を、今年度の結果も見ながら検討していきたいと感じています。

(林委員)

ファストフード店を利用する親子連れも多く見かけますので、若い世代に正しい食育が伝えられるものであってほしいと感じています。

(梅木会長)

ご意見ありがとうございました。令和7年度のアンケート結果を皆様と情報共有し、課題を整理し、次期計画を皆様と検討して参りたいと思います。

他にご意見はございませんか。

では、続きまして資料3から事務局より説明お願いいたします。

(事務局 丸山)

資料3は、各課のイベントを表にまとめています。また、資料4は各イベントについてまとめ、どちらも市HPへ掲載しています。

資料5は、令和7年度の食育関連の広報掲載予定内容を各課記載しています。広報4月号では、福津のブッロコリーに関する特集を掲載しましたので、掲載内容をお配りしています。

(林委員)

宗像市では、ユリックスで味噌づくり講座があり大変人気がある様ですが、福津市主催で講座はないのですか。

(城野副会長)

以前は、食進会でもしていましたが、昨年度は麴が手に入らずできませんでした。JAさん材料はいかがでしょうか。

(山本委員)

JAでは宗像市の小学校から味噌づくり体験をしたいと問い合わせがあります。大豆が今年は不作と聞いていますが、材料のことは、JA本店に聞いてもらおうと良いです。

(梅木会長)

資料3に掲載されていない事業もあるとのことでしたが、味噌づくりは福津市でもされていたということですし、継続できるよう、今までとは違う方法も考えると良いかもしれません。

続きまして、議事2「食育に関する市民アンケートの進捗状況について」事務局よりお願いします。

(事務局 丸山)

平成 29 年 3 月に策定した第 2 次福津市食育推進計画に基づいて食育を推進し、様々な食育活動が市民にどの程度浸透しているかを検証し、第 3 期食育推進計画を策定するための基礎資料を得ることを目的に、6～7 月にアンケートを実施しました。

【調査設計】

- ① 一般市民、18 歳～75 歳の市民で住民基本台帳による抽出 1,500 人
- ② 3～6 歳までの幼児の保護者、住民基本台帳による抽出 500 人
- ③ 市内小学校 5 年生 841 人
- ④ 市内中学校 2 年生 748 人
- ⑤ 県立水産高校 2 年生、県立光陵高校 2 年生合計 541 人

調査方法は、WEB を利用したアンケート実施を行いました。

【回答】

- ① 一般市民 337 人 (23%)
- ② 幼児の保護者 206 人 (41%)
- ③ 小学 5 年生 708 人 (84%)
- ④ 中学 2 年生 669 人 (89%)
- ⑤ 高校 2 年生 503 人 (93%) でした。

現在、福岡女子大学へ依頼しアンケート分析をしていただいています。分析結果は、今後の食育推進会議で報告予定です。

(林委員)

私たちは、いつ結果を知ることができるのでしょうか。

(事務局 丸山)

分析結果は、福岡女子大学の分析結果が出ましてから、3 月頃に食育推進会議で皆さまにお伝えする予定です。市民の皆様へも市 HP で公表予定です。

(事務局 安部)

アンケートに関しましては、結果が出ましたら、委員の皆様には資料の提示になりますので、それを基に次期計画に関して皆さまにはご意見いただきたいと存じます。

(梅木会長)

ありがとうございます。アンケートは最終的な結果を委員の皆さまにお伝えし、それを基に委員の皆さまには時期計画に関して考えていただくということですね。アンケート集計作業を只今福岡女子大学でしておりますので、暫くお待ちいただければと思います。今年度のアンケートは WEB を利用したことで前回とは回答の方法も変わっていること、また、前回令和 2 年度の

コロナ禍の状況との比較ともなりますので、時代背景のこともあり結果をどう受け止めるか難しいところもございますが、結果をお待ちください。

他にご意見はございませんでしょうか。

では、WEBでの回答になったことで市民の方から何かご質問等はございましたか。

(事務局 安部)

小中学校の方は、授業でもタブレットを使っていますので、「紙のアンケートよりもWEB形式の方が先生の負担が減って助かる。」とご意見いただいています。その他、ご高齢の方から1件質問のお電話がありました。他は特にありませんでした。

(梅木会長)

集計の方も、紙に比べ、データー入力の手間が省け簡素化しております。回答していただいた方が100%ではないので、どういった方がWEBアンケートでお答えいただけたのかも含めてみていこうと思っています。

その他ご意見はございませんでしょうか。

(田島委員)

第2次に続いて、来年度第3次計画を作っていく訳ですが、第2次福津市食育推進計画の39ページに、食育推進会議と、福津市の各部課から参加して行われる食育推進プロジェクト会議とあり、この両方で食育推進計画を作っていくことになっていますが、せっかく一緒に作っていくわけですので市のプロジェクト会議でどのような議論が出るのか、プロジェクト会議の議事の内容を知れるようお願いしたいと思います。

(事務局 安部)

基本的にはプロジェクト会議を経て、この会議を開催する流れになりますので、どういった内容を検討して、この会議に提案しているかも合わせてお伝えさせていただきたいと思います。

(林委員)

先程も言いましたが、令和7年度の取組み案は、決定事項ということになるのででしょうか。この会議は年2回しかないが、取り入れてほしいことがあれば、予算のことを考えるといつまでに意見したら良いのでしょうか。

(事務局 丸山)

案と入れておられますのは、早い時期に各課に依頼したこともあり、案と入れておられます。すでに行った事業もありますし、今後、状況が変わったらできない事業もありますので案としておられます。予算が関わることにしましては、ご意見いただきましたら次年度以降の検討ということになるかと思えます。

(林委員)

では、次回2月の会議でも難しいということですか。この会議は年2回しかないですが、要望あげる機会はいつすればよいですか。

(事務局 安部)

皆さんからいただいたご意見については、随時関係課には伝えさせていただいております。既存の事業とのすり合わせもありますし、全体で動くものについてはプロジェクト会議で話し合わせていただきます。また、予算が伴うものに関しましては、すぐに対応できないものもございますので、内容に応じて検討させていただきたいと思っております。予算がともないものであれば、内容によってはすぐに対応できるものもあります。

(梅木会長)

昨年度には、この会議からの意見を関係課へご報告していただいた後に、回答や対応のご報告もありました。この会議は色々な意見を交わす場ですので、皆さまには色々なご意見を出していただき、市でも長期的になるものがあるかもしれません、ご検討していただければと存じます。

その他どなたかご意見ありませんか。ないようですので、議事を終了し事務局へお返しします。

(事務局 安部)

会議録につきましては、事務局で作成し、梅木会長にご確認いただいたあとで委員の皆さまへお送りいたします。

最後に事務連絡です。本年度の開催は年2回を予定しております。次回会議は、来年3月頃を予定しております。またご連絡をいたします。

また、これから次の計画に向けて皆さまにご検討いただく機会が増えてまいりますので、来年度は年2回以上の会議を予定しております。お忙しいとは存じますがご協力のお願いいたします。本日はお忙しい中、ありがとうございました。